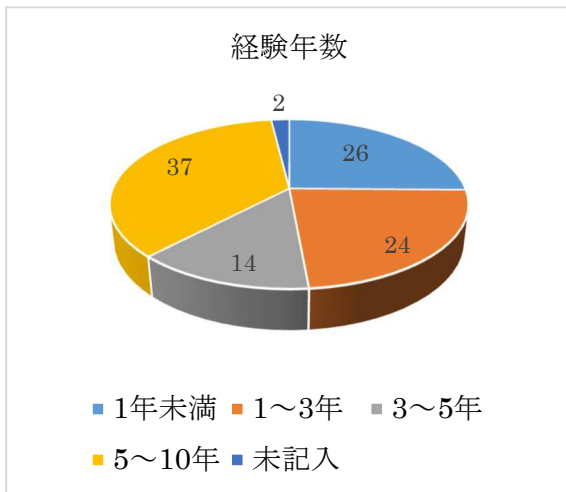


# 平成 30 年度 第 2 回熊本分会研修会報告

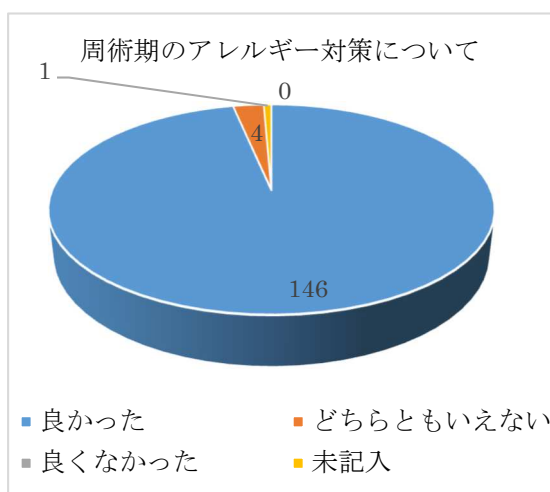
平成 31 年 2 月 27 日

日本手術看護学会九州地区熊本分会 分会長 宮園清子

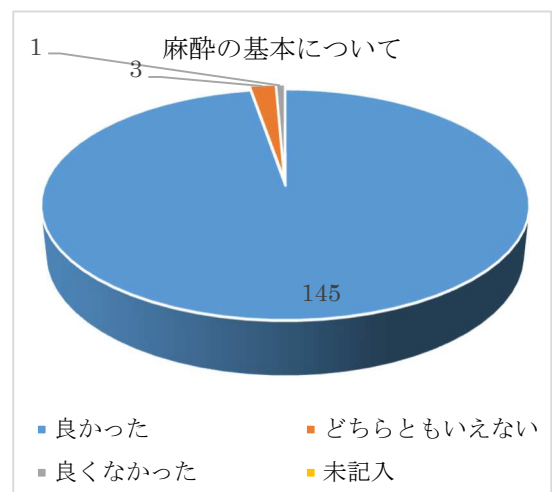
1. 日時 平成 31 年 2 月 9 日（土） 13:00～16:30
2. 場所 済生会熊本病院 外来がん治療センター4階 コンベンションホール
3. 内容  
講義 「麻酔の基本」 講師：熊本大学医学部附属病院 中央手術部医師 石村達弘先生  
講義 「周術期のアレルギー対策」 講師：手術看護認定看護師 鳥飼拓哉先生
4. 参加人数 163 名（会員 36 名 非会員 127 名）
5. アンケート結果 （アンケート回収率 93.6%）
  - 1) 手術室経験年数



- 2) 研修の感想をお聞かせください  
＜周術期のアレルギー対策について＞



- ＜麻酔の基本について＞



<周術期のアレルギー対策について>

- ・アレルギーの起こる機序がわかった。当院でよく使用する薬剤成分の理解が出来た。効率の良い問診につなげるように情報を共有したい。
- ・術前訪問の内容を見直そうと思った。
- ・アレルギーについて詳しく知る事が出来た。ショックが起きた時自分がどう行動すればよいかイメージできた。実践に活かしたい。
- ・アナフラキシーショックについてのアラートは、作成していなかったので取り入れ、スタッフ全員で対応できるようにしたい。
- ・フルーツアレルギーとラテックスアレルギーの事が聞けて良かった。
- ・日頃自分たちが、戸惑う部分に取るべき行動が示されていた。
- ・自施設のアレルギー対策を見直そうと思った。
- ・自施設でも使用している薬剤もあり、対応方法も具体的だったので、自施設で、しくみ作りに活用できる。
- ・アレルギー反応を見落とさないために患者様の全身を観察する事と問診に気を付け、患者様に関わることを再確認した。
- ・新しいことが追加されていて良かった。
- ・外回りをする際に、モニターのどこに注意すればよいか学ぶことができた。

<麻酔の基本について>

- ・末梢神経ブロックが多く導入されてきているため、最近の状況に合った研修だった。
- ・図や穴埋め方式が参加型で良かった。スライドが見やすかった。
- ・同じ内容かもしれませんが、復習になり良いと思う。新人にも基本的な事で、分かり易かったと思う。末梢神経ブロックも良かった。
- ・プリセプティとともに受講したため麻酔に対する共通認識を得る事が出来た。教育の場で活かせると思う。
- ・末梢神経ブロックは動画があると良かった。
- ・術中、麻酔科医が何を考えて麻酔管理をしているか分かった。看護師が必要な介助や観察項目が理解できた。
- ・スライドが早すぎて、手元資料に書き込む形式では、説明が聞き取れない。
- ・末梢神経ブロックには興味がわかなかった。

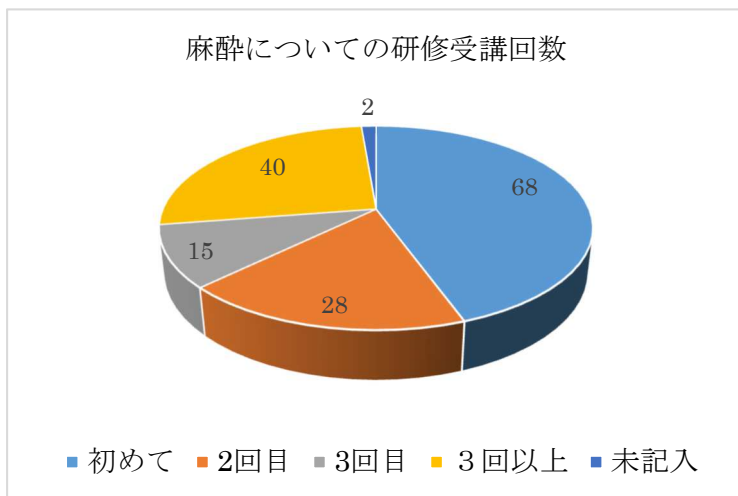
3) 今回の研修はどのようにして知りましたか

- ①学会ホームページ (19名)
- ②施設に送付された案内文書 (113名)
- ③知人から聞いて(8名)
- ④上司からのすすめ(9名)
- ⑤未回答 (2名)

4) 今後聴講したい講師やテーマがありましたらご記入ください

- ・ 医療安全対策
- ・ 災害・火災訓練
- ・ 感染管理
- ・ 術前、術後管理
- ・ 麻酔科医から見た術前身体状況、情報収集
- ・ 循環管理、血液ガスについて
- ・ 薬の基礎知識、鎮痛薬の使い方
- ・ 麻酔器の見方、取扱い方
- ・ 広島大学の讃岐先生の講演
- ・ 麻酔看護実践
- ・ 皮膚管理
- ・ 産科や小児科に関連したもの
- ・ 整形外科医または、理学療法士による神経走行と良肢位を踏まえた安全安楽な体位固定
- ・ 周術期管理チームの学習内容について
- ・ 手術室における倫理

5) 熊本分会研修会の麻酔についての研修受講は何回目ですか



## 6. 総括

アレルギー対策に関しては新しいガイドラインも出されたため、関心度も高かったと思われる。参加者の所属施設の規模、対応診療科が多岐にわたるため、ニーズの幅も広がっている。複数回参加している参加者も多いが、基礎的な内容を繰り返し学習することで、復習にもつながり満足度は高かった。